

企画者	会議名・内容等	目的	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30予定	
医師会・連携支援室	地域包括ケアシステム研究会	小金井市に地域包括ケアシステムを構築するために関連諸団体が力を合わせていく。	三師会代表、小介護各部門代表、学識経験者、行政	4/19 第1回 市より「地域包括ケア」関連事業について			7/5 第2回 各団体からの地域包括ケアに関する取り組みの報告			10/11 第3回・部会の設置について(提案)			1/17 第4回			3ヶ月に1回の開催予定	
	地域医療委員会	在宅療養を中心とした医療・介護の知識を多職種で共有する	市内の医療・介護従事者、行政		第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回	年6回開催	
	在宅医療研究会講演会						7/10 「日野市に於ける24時間診療体制について」									引き続き年2回開催予定	
	認知症連携会議	認知症連携シートの普及と事例検討	市内の医療・介護従事者、行政		5/22 第1回				9/11 第2回					2/5 第3回			年3回実施予定
	地域包括ケア講演会	地域包括ケアシステムに関する講演会を開き、知識を多職種で共有する	市内の医療・介護従事者、行政	4/10 第6回「地域包括ケアの経緯と実践的課題」							11/20 第7回「介護施設における感染症対策」						引き続き年2回実施予定
	ケアマネ勉強会	ケアマネの医療知識向上と連携を深める	市内の在宅医、ケアマネ								11/16 第1回「終末期の病態を知る」			1/17 第2回「神経難病について」		3/1 第3回「脊柱管狭窄症について」	引き続き2ヶ月に1度開催
	多職種研修会/医師会主催研修会	多職種連携のための知識向上	市内の医療・介護従事者、行政			6/2 第3回「在宅生活の「食」についての困りごと」			9/27 多職種勉強会「地域包括ケア病棟について」		11/15 第4回「退院カンファレンスについて」						多職種研修会：年2回 勉強会：年1回
ICT研修会	多職種連携のための知識向上	市内の医療・介護従事者、行政				7/3 ICT研修会「MCSIについて」										引き続き年1回実施	
歯科医師会	三師会学術講演会	多職種連携のため	市内の医療・介護従事者、行政								11/29 「認知症患者の口腔ケア」			2/6 高齢者の摂食嚥下と口腔ケア			平成30年度は年2回の講演を予定
薬剤師会	在宅介護支援委員会	市内の在宅医療薬剤師の知識の向上と多職種との連携を目指す。	薬剤師 内容により医師、看護師、介護支援専門員も対象				7/11 第6回在宅症例検討会「現場のあんな技、こんな知恵、そして道具」		9/26 勉強会「がん疼痛でのオピオイド鎮痛薬の使い方」	10/25 第7回在宅症例検討会「アセスメント(訪問前の書類から患者像を想像してみよう)」				2/25 無菌調剤施設の実地調剤研修「混合調剤手技の説明と実技研修」			症例検討会：年3回 勉強会：年1~2回
小金井市	包括運営協議会	地域包括支援センターの適切な運営と、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できることを目指す。	医療・介護従事者、学識経験者、被保険者代表							10/26 第1回					3/29 第2回	引き続き年2回予定	
	在宅医療介護連携推進会議	在宅医療と介護の連携課題の抽出と対応策の検討を話し合い、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指す。	在宅医療・介護連携推進会議の委員				7/13 第1回「他職種に期待すること」			10/19 第2回「関係機関による取り組みについて」			2/1 第3回「各関係機関で行われている取り組みの検討」			引き続き年3回7、10、2月に実施	
	市民向け講演会、フォーラム	市民への福祉分野への普及啓発及び多職種連携の一環として行う。	市民及び市内の医療・介護従事者						9/15 認知症フォーラム・講演会					2/14・15 地域包括ケア実践交流会「お元気サミットin小金井」			平成30年度も何等かの形で実施
	介護支援専門員研修	介護支援専門員として必要な知識、技術を習得し、資質向上の機会を作る。	介護支援専門員									11/28 成年後見制度について				3/15 みんなで行う事例検討会	引き続き年2回実施
	地域包括支援センター職員勉強会	地域包括支援センター職員のケース対応能力、アセスメント力の向上を図る	地域包括支援センター職員											2/22 第1回 講義	3/16 第2回 内容未定		平成30年度は年4回実施

平成29年度 会議、研修、講演会等スケジュール

企画者	会議名・内容等	目的	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30予定	
小金井市介護事業者連絡会	市主催	福祉関係者の知識習得と資質向上のため	市内の介護従事者									12/21 嗜む・飲み込むが困難な人の食事			3/12、13、15 身体の構造を知り、介護に活かす(3回講座) 3/26 テーマ未定		
	居宅グループ		市内の居宅介護支援事業所職員							10/26 MSWの仕事について			1/31 高齢者虐待について				
	訪問グループ (訪問看護部門)	スキルアップと同職種との交流のため	市内の訪問看護ステーション職員	4/21 勉強会「みとりの現場の「グリーンケア」について」						9/11 勉強会「スキントラブルについて」							
	訪問グループ (訪問看護専門部会)	訪問看護ステーション間の連携、ステーション間の交流について相談、企画。情報の伝達等	訪問看護ステーション管理者		5/19 専門部会						10/27 専門部会				2/23 専門部会		引き続き年3回実施予定
	訪問グループ (訪問介護・訪問看護合同)	訪問介護と訪問看護の連携を図るため	訪問介護職員 訪問看護職員											1/26 事例検討会(認知症患者の方に対する関わりについて)			
	福祉用具グループ	市内の介護事業者への情報提供及び多職種連携	市内の介護事業所職員				7/14 福祉用具新商品展示会										
多摩府中保健所	精神保健福祉講演会	アルコール依存症の基礎知識や当事者理解を深める	保健・福祉関係機関						9/1 アルコール依存症の理解①「病気の理解と対応」	10/18 アルコール依存症の理解②「当事者からのメッセージ」						・ひきこもり ・大人の発達障害	
	特殊疾病対策講演会	疾病に関する基礎知識の周知や治療上の問題解決、多職種連携に関する内容等、毎回目的は異なる。	6/5：訪問看護ステーション職員 11/29：ケアマネ等福祉職員			6/5 在宅人口呼吸器使用者の災害対策～災害時個別支援計画策定を通じて～					11/29 神経難病の基礎知識と治療の考え方～患者・家族の意思決定を支えるために～					患者・家族向け年1回、関係者向け年1回	
	感染症対策の推進	感染症予防対策の推進のために、高齢者福祉施設や市主催の福祉職の人材育成研修に要望があった場合に研修会を実施。	ケアマネ等福祉職員														継続 (2年に1度開催のため平成29年度は未開催)
地域包括支援センター	小地域ケアマネ勉強会	ケアマネジャーの資質向上の機会を作る。	市内の介護支援専門員			6/15 にし主催(精神疾患を持つ家族からのクレーム対応)			9/14 ひがし主催(サービスを受け入れてくれない方へのアプローチ)			12/14 みなみ主催(在宅を希望されているが、在宅が困難なケースへの関わり)		2/15 きた主催(医療連携について)			各包括持ち回りで年4回実施予定
	リ・アセスメントシート勉強会	介護支援専門員として必要な知識を得て貰う。	市内の介護支援専門員								11/1 第1回 自立支援とケアプランについて	12/13 第2回 リ・アセスメントシートの基本的な考え方と構造		2/9 第3回 リ・アセスメントシートを使ったグループワーク	3/ 第4回 第3回の続き		未定
	小地域ケア会議	地域課題の抽出と課題への対策について地域住民と共に検討する	各圏域の住民、関係者						9/21 きた包括 9/27 みなみ包括	10/25 ひがし包括 10/25 にし包括							年1回以上実施
平成29年度月別合計				3	3	3	7	0	9	8	8	3	7	8	8	67	
(上記包括外)	認知症サポーター養成講座	認知症について理解し、認知しようの人やその家族を温かく見守り支援できる知識をつける。	市内在住、在勤、在学の方			定期開催(4包括それぞれで開催)				定期開催(4包括それぞれで開催)				定期開催(4包括それぞれで開催)		定期開催以外に随時開催	
	個別地域ケア会議	高齢者の個別課題の検討を通じ地域課題の抽出を行う	対象者に関わる関係者、地域住民	4/6 きた包括			7/25 にし包括 7/28 ひがし包括			10/11 みなみ包括		12/7 ひがし包括				適宜実施	

平成 29 年度 会議、研修、講演会等スケジュールから確認できること

### ○前回委員会のまとめ

- ・研修や委員会などが多数あり、できたらまとめたい
- ・事例検討会が少ないのでは
- ・アンケートをとり市内でどのような活動があるのか把握したり、研修等について聞き、新規参加者を増やす工夫のしどころなどを把握する（各団体代表者ではなく業務に従事している方々へ）
- ・事例検討会のよさをアピールする機会、また ICT のよさや連携の成功例等の発表会

### ○今回の事前課題より

- ・研修等が集中している月がある
- ・ケアマネを対象にした研修等が多い
- ・講義形式が多いが、事例検討会も複数実施されている。
- ・各団体の専門的な内容が複数ある。
- ・実施時間帯は把握できたものとできていないものとあり

### ○事前課題で把握しきれないこと（意見等）

- ・アンケート実施の有無
- ・実施後の評価
- ・既存の研修等の中で、連携のよさなどを発表する機会の有無
- ・他の関係機関で実施している研修等で合同でやれそうな内容のもの
- ・今後連携を推進するにあたり、各団体の研修等でやったほうがよいテーマ、内容
- ・周知方法（新規参加者への周知方法の検討の有無）

各関係機関が実施している取り組み全体を通して、

- ・合同で実施できそうな取り組み
- ・連携のよさをアピールできる機会が作れそうなもの
- ・今後取り組んだほうがよいテーマ
- ・各団体の活動について、それぞれの取り組みについて等、まずこういった内容を優先してアンケートを取るべきかなどについてご意見をお願いいたします。